

新型コロナウイルス感染症対策について

伊東市立大池小学校

いつ	どのように	なぜ
<p>登校時</p>	<ul style="list-style-type: none"> 校門を入る際にマスク着用を確認する。 7:50 玄関開錠 →児童一人一人に検温してきたかどうかを確認する。 →検温していない児童は保健室へ行くよう指示する。 ※7:50 前に登校した児童は、一定間隔を保って並んで待たせる。 (目印のコーンを設置)  	<ul style="list-style-type: none"> 校内の受け入れ態勢を整えるため、開錠時刻を7:50に設定する。 まずは校内にウイルスを持ち込まないことを念頭に対処するため、発熱の有無を確認する。
<p>登校後</p>	<ul style="list-style-type: none"> 担任は、児童が教室へ入る前に手洗い、手指消毒をさせる。※アルコール過敏の児童は手洗いのみで可とする。 マスク着用の確認。(ガーゼマスク可。) 担任は、登校した児童の健康チェックカードをすぐに回収・点検する。 ＜検温していない児童、チェックカードを忘れた児童＞ ○保健室へ行き、検温した後教室へ向かう。 ＜風邪症状のある児童＞ ○原則として早退させる。 ○帰りの支度をさせて第2保健室へ向かわせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 上記同様、まずはウイルスの持ち込みを防ぐため、入室前に手洗い、消毒を行う。 校内では常時マスクをすることを習慣づけ、感染症の蔓延を防ぐ態勢を整える。 ※朝運動は、児童の様子、学校の態勢を考え合わせ、実施可能と校長が判断した段階で開始する。
<p>集会</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全校集会について、全校が集まることはせず、必要な場合は校内放送を使う。 学年単位で集まる場合は、十分な広さの場所を使うこと、短時間で行うことに留意する。 	<ul style="list-style-type: none"> 感染リスクレベルが高くないとはいえ、他学年多人数が交流する機会は極力避けることを心がける。
<p>朝の会</p>	<ul style="list-style-type: none"> 健康観察を丁寧に行い、健康観察カードに記入する。 □咳、発熱、だるさ、息苦しさ、風邪症状の有無をチェック □ハンカチ・ティッシュ持参のチェック 飛沫感染のリスクが高いことから、朝の歌は当面なしとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭での健康チェックとのダブルチェックで、感染蔓延に備えた水際対策を確実に行う。
<p>授業</p>	<ul style="list-style-type: none"> 授業者は、開始前に健康観察とマスク着用を確認する。 教室の換気を徹底する。 →エアコン稼働中を含めて、2方向の窓を同時に開ける。 机は原則前向きとし、対面となるグループ活動は当面行わない。ただし、距離を十分とった上で短時間の対面活動は可とする。 教科ごとの指導上注意すべき内容の詳細については、「新しい学校の生活様式」を参照して行う。 ※<u>体育を行う際には、熱中症防止のため、十分な距離を確保した上で、マスクを外して行う。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 感染による一斉休校を防ぐため、感染リスクレベルが高まった場合にも実施可能かつ継続可能な方法を模索する。 ※今後、変更があることも視野に入れながら実施していく。 学校で実施しなければいけない内容、家庭学習において補充が可能な内容を吟味し、前者を中心に授業を進める。

いつ	どのように	なぜ
休み時間	<ul style="list-style-type: none"> ・6月中は長い休み時間（中休み、昼休み）をなしとする。 →業間に10分休みを設け、トイレや水分補給、教室移動、息抜きを行う。 ・流しやトイレの前には一定距離の目印を付ける。 <p>※休み時間の実施方法については今後検討する。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ○長い休校期間を終えた児童に、学校における感染症対策を十分に理解させ、密集、密接に対する意識を高めた上で、長い休み時間を設定していく。 ○日常生活の中で、児童がソーシャルディスタンスを意識できるようにする。 
給食	<p>【給食前】</p> <ul style="list-style-type: none"> □全員が手洗い後、手指消毒を行う。 □児童、教員は必ずエプロン・マスクを着用する。 □担任は、給食当番に風邪症状がないか、手洗いや消毒を行ったかをチェックし、給食当番の氏名とともにカードに記入する。 <p>【配膳】</p> <ul style="list-style-type: none"> □室内の密集を避けるため、学級の人数によっては、多目的室を使う。 □トレイ、食器、はし、スプーン等は使い捨て手袋をして配る。 □その他の主食・主菜・副菜（汁物）は、器具を使い配る。 □配膳が難しいものについては教員が担当する。 □少なめに盛り付ける。 □牛乳や個包装のゼリーは、自分の分は自分でとる。もしくは、使い捨て手袋着用の上で配る。 □一度配膳したものは減らさない。 □おかわりは教員が配る。 <p>【食事】</p> <ul style="list-style-type: none"> □前を向いて、おしゃべりせずに食べる。 □食べ終わったらマスクをする。 <p>【食後】</p> <ul style="list-style-type: none"> □牛乳パックは、中身がないことを確認し、できる限り折りたたんで所定の袋に入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校生活において、<u>給食の時間が最も感染リスクが高い</u>ことを念頭に置いて指導する必要がある。 ○万一感染が判明した場合に備え、感染経路を追うための手がかりとして当番の氏名を残しておく。 ○感染リスクを抑えるため、一度配膳した食器から回収することを避けるため、少なめに盛り付ける <ul style="list-style-type: none"> ○牛乳パックに残った牛乳からの感染リスクを抑えるため、管理を丁寧に行う。
掃除	<ul style="list-style-type: none"> ・教室掃除は放課後、担任が行う。 ・廊下や階段の掃除は毎週月曜日に5、6年生が分担して行う。 ・拭き掃除は行わず、掃き掃除のみとする。 ※用務員が定期的に掃除機をかけて清潔を保つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○床に飛沫が飛んでいることから、当面は上級生、教員による掃除のみとする。
下校	<ul style="list-style-type: none"> ・帰りの会終了後～5分後に荻方面児童、その後吉田方面児童が下校する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○玄関付近での密集を防ぐ。
放課後	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が分担して、多くの児童が触れる場所を消毒する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○一日一回は消毒作業を行い、ウイルスの増殖を抑える。

